

事業の概要		コード	05-02-02-02
事務事業名	男女共同参画推進事業		
事業開始年度			
総合計画	大項目 基本目標	住民主体の協働のまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	ふれあい豊かなまちづくり	担当課(室)
	小項目 施策	男女共同参画社会の形成	職・氏名
			電話
			0869-64-1823

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市民・行政・事業者
目的(何のために)	男女共同参画のまちづくりの推進に関し、様々な取り組みが行われてきたが、社会的につくられた性別の意識や、性別による固定的な役割分担に起因する課題は今なお存在している。市としては、男女共同参画のまちづくりに関する施策を定め、男女が共に支え合い、輝いて生きることができるよう男女共同参画のまちづくりを推進する。
行政活動(どのような方法で)	平成17年3月22日施行した「備前市男女共同参画まちづくり条例」の通り、男女共同参画について理解を深め、家庭、職場、学校、地域その他の社会のあらゆる分野において、男女共同参画の推進に積極的に取り組む。19年度に策定し、23年度を目標年度とする5カ年計画の「備前市男女共同参画基本計画」により、数値目標等の計画の進捗状況を調査し、審議会へ報告し、公表した。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	男女共同参画社会の形成に当たっては、政策・方針決定過程への女性の参画が促進されることが極めて重要である。基本計画において、政策・方針決定過程への女性の参画の拡大を重点分野の1つとして掲げており、23年度目標とする市の審議会等委員の女性比率を30%に

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	男女共同参画推進委員会(開催数)		回	10回	8回	7回
	男女共同参画推進審議会(開催数)		回	2回	5回	2回
	男女共同参画推進連絡会(開催数)		回	1回	5回	3回
	審議会等の女性登用率		%	22.6%	23.9%	26.3%
	市職員の研修会(開催数)		回	1回	1回	1回
	事業費	直接事業費	千円	655	2,542	192
		人件費		6,508	7,050	4,774
		事業費計		7,163	9,592	4,966
	財源	国県支出金		728	743	0
受益者負担						
一般財源		千円	6,435	8,849	4,966	
必要人員		人	0.68	0.70	0.48	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	男女共同参画推進連絡会(庁内)		説明			
	結果指標量	回		1	5	3
	対前年比	%		-	500.0%	60.0%
	活動コスト	円		650,800	705,000	363,780
結果指標	結果指標量		人			
	対前年比	%				
	活動コスト	円				
単位当たりコスト		円				

事業の成果			
成果指標名	審議会等委員への女性登用率	式又は説明	審議会等の女性の委員数/審議会等の委員数 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	22.60	23.90	26.30
対前年比	105.75%		
	110.04%		
到達目標値	30	到達目標年度	平成23年度

事業の目的、対象、内容を考えているが、目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

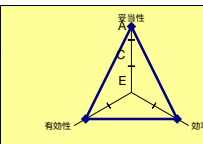
事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	A
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	男女共同参画社会基本法で、男女共同参画社会の実現が21世紀の日本の社会を決定する最重要課題と位置づけられており、また備前市男女共同参画まちづくり条例にも、市の基本計画の策定の実施の責務が規定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	効率性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
手	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善に努めている	男女共同参画を推進していくためには、意識の高揚は実践に結びつけるための必要手段である。市の意識高揚には、市からの啓発だけでなく、広がりやすく、市民、各種団体の民間活力を利用し、意識啓発を進めていくことは、有効な手法である。	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
職	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	男女共同参画社会の実現には、市、市民、事業者等がそれぞれの役割を果たすことが重要である。本年度は基本計画の通り、市が課題に対応した施策を実現することが有効である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施等が積極的に市民意見を反映している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	平成19年度からの5カ年は計画で設定した目標に向かって備前市の男女共同参画のまちづくりを推進する。また、年度ごとに取り組みや達成状況を公表する。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	2回	結果指標量
	成果指標量		27.00%

総合評価		評価区分<A-E>	B
国においては、男女共同参画社会の実現を21世紀の我が国社会を決定する最重要課題と位置付けている。本市においても平成19年度を初年度とし、平成23年度を目標年度とする5カ年計画の「男女共同参画基本計画」の策定に伴い、具体的政策の見直し推進の促進をした			



平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	地域での推進を図るための人材育成と活用	平成20年度	県ゼミナール受講者の人材活用など民間力活用によりコストの削減が図られる。
効率性	職員研修を年次計画的に実施するとともに、推進連絡会を定期的に開催し、市の率先垂範のための意識啓発	平成20年度	男女共同参画を円滑かつ総合的に企画、企画、調整実施することができる
有効性	基本計画の目標ごとに課題を整理し施策の推進をする。	平成20年度	設定した数値目標に、総合的、計画的に推進することで目標達成に近づける。